



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社

コード番号 4531 URL <http://www.yuki-gosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 紘行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 鷲崎 英博

TEL 03-3664-3980

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,525	5.6	140	—	100	—	68	—
22年3月期第2四半期	4,284	△25.1	△198	—	△235	—	△339	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3.12	—
22年3月期第2四半期	△15.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	15,970	8,803	55.1	402.98
22年3月期	16,491	8,873	53.8	406.15

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,803百万円 22年3月期 8,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	2.00	2.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	1.0	300	—	230	—	120	—	5.49

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	21,974,000株	22年3月期	21,974,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	129,159株	22年3月期	126,414株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	21,845,261株	22年3月期2Q	21,863,829株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績予想については、平成22年5月14日発表の業績予想を修正しております。詳細については、本日発表の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照願います。

2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の数値は、様々な要因により、上記数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	4
2. その他の情報.....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	5
3. 四半期財務諸表.....	6
(1) 四半期貸借対照表.....	6
(2) 四半期損益計算書.....	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
4. 補足情報.....	12
(1) 生産、受注及び販売の状況.....	12

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする堅調な外需に牽引されたことに加え猛暑やエコカー補助金などの一時的要因も重なり、高めの成長を維持しました。しかし、世界経済の停滞感が強まる中で急激な円高の進行による輸出競争力の低下が懸念されるとともに、国内では長引くデフレや政策効果の息切れなどにより先行きの景気減速感が強まっている状況です。

化学工業におきましても、これまで国内外の景気回復を背景として需要は増加基調を辿り企業業績も改善してきましたが、景気の足踏みや原燃料価格の変動および為替相場の影響が徐々に顕在化してきており、先行きが懸念されています。

このような状況のもとで、当社は当期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画に基づき、販売力の強化、コストダウンによる競争力強化、徹底した経費節減等の各種取り組みをおこなっています。こうした中、当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比5.6%増の4,525百万円となり、また、売上高の増加に伴い、営業利益は140百万円（前年同期は198百万円の営業損失）、経常利益は100百万円（前年同期は235百万円の経常損失）、四半期純利益は68百万円（前年同期は339百万円の四半期純損失）と大幅に改善いたしました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

なお、当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであります。従来、売上高については内部管理上採用していた区分を「事業区分」として記載してまいりました。しかし、本年4月に営業部門の機構改革をおこない3営業本部制としたことをうけまして、当第1四半期累計期間より従来の「事業区分」を、各営業本部の販売品目と一致させた「製品区分」に変更しております。

(単位：百万円)

	平成22年3月期第2四半期累計期間				平成23年3月期第2四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	934	574	1,509	35.2	972	1,018	1,990	44.0
化成品関係	1,225	771	1,997	46.6	1,369	301	1,671	36.9
医薬品関係	644	133	778	18.2	692	171	864	19.1
合計	2,804	1,480	4,284	100.0	3,034	1,490	4,525	100.0
構成比(%)	65.4	34.6	100.0		67.1	32.9	100.0	

(注) 1 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 前年同期の内訳は「製品区分」に組み替えて記載しております。

【アミノ酸関係】

主に主力製品であるアミノ酸およびビタミン原料の輸出増により、前年同期に比べ大幅に売上高が増加いたしました。

【化成品関係】

特殊触媒の国内販売は増加しましたが、農薬中間体および船底塗料用原料の輸出版売などが減少した結果、前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

【医薬品関係】

既存医薬品原薬および新規医薬中間体の販売増などにより、前年同期に比べ増加いたしました。

(ご参考)

当会計期間より、前述の「製品区分」への変更をおこなっておりますが、従来の「事業区分」による売上高の内訳はつぎのとおりであります。

(単位：百万円)

	平成22年3月期第2四半期累計期間				平成23年3月期第2四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
医薬品関係	996	544	1,540	36.0	1,069	1,092	2,161	47.8
食品添加物関係	657	172	829	19.3	718	78	796	17.6
工業薬品その他	1,150	763	1,914	44.7	1,247	320	1,567	34.6
合計	2,804	1,480	4,284	100.0	3,034	1,490	4,525	100.0
構成比(%)	65.4	34.6	100.0		67.1	32.9	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、つぎのとおりであります。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から316百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加と受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から204百万円減少いたしました。これは主に、建物、構築物の減価償却による減少と投資有価証券の評価差損によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から227百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の返済によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から223百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金を流動負債の1年内返済予定の長期借入金に振り替えたものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産額合計は、前事業年度末から70百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益計上による増加と、配当金の支払とその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び同等物(以下「資金」という)は571百万円となり前事業年度末に比べ458百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1,088百万円(前年同期は144百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益114百万円、減価償却費403百万円と、売上債権の減少742百万円等による資金の増加と、仕入債務の減少82百万円と、たな卸資産の増加13百万円等による資金の減少との差額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は225百万円(前年同期は158百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出224百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は396百万円(前年同期は364百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の返済155百万円、長期借入金の純減額118百万円と社債の償還78百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、世界的な景気減速の気配が漂う中で生産調整などによる需要の減退が予想されています。また、依然として不安定な為替動向や原燃料相場が経営を圧迫することが懸念されており、企業を取り巻く環境は引き続き先行き不透明な状況が続くと思われれます。

このような状況の中、当社は全力を挙げて収益確保を図り、将来に向けての持続的な成長を支える強固な経営基盤の確立を目指してまいります。

現時点における当社の平成23年3月期通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の実績に加え、第3四半期以降の業績見通しも踏まえ、平成22年5月14日に発表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日発表の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税

引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

② 前第2四半期累計期間において営業外費用「雑損失」に含めて表示しておりました「アレンジメントフィー」(前第2四半期累計期間12,000千円)は、営業外費用の20/100を超えたため、当第2四半期累計期間においては独立掲記することとしました。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	791,777	333,650
受取手形及び売掛金	2,748,621	3,491,513
製品	1,872,525	1,821,420
仕掛品	703,545	664,141
原材料	644,627	718,555
その他	176,103	224,664
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	6,936,900	7,253,646
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,660,832	1,702,863
機械及び装置(純額)	1,682,011	1,662,332
土地	3,151,011	3,151,011
その他(純額)	553,139	653,297
有形固定資産合計	7,046,994	7,169,504
無形固定資産	124,957	126,671
投資その他の資産		
投資有価証券	1,294,234	1,391,701
その他	567,090	549,517
投資その他の資産合計	1,861,325	1,941,219
固定資産合計	9,033,276	9,237,395
資産合計	15,970,177	16,491,041
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,268,761	1,368,126
短期借入金	1,240,000	1,395,000
1年内返済予定の長期借入金	1,236,000	1,236,000
未払法人税等	55,125	23,112
賞与引当金	72,032	75,607
その他	534,256	535,520
流動負債合計	4,406,175	4,633,365
固定負債		
社債	564,000	642,500
長期借入金	442,000	560,000
再評価に係る繰延税金負債	797,433	797,433
退職給付引当金	873,876	900,347
役員退職慰労引当金	69,300	83,900
資産除去債務	14,254	—
固定負債合計	2,760,864	2,984,181
負債合計	7,167,039	7,617,546

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471,000	3,471,000
資本剰余金	3,250,140	3,250,140
利益剰余金	2,275,450	2,251,083
自己株式	△42,751	△42,079
株主資本合計	8,953,839	8,930,144
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△39,639	54,411
土地再評価差額金	△111,061	△111,061
評価・換算差額等合計	△150,701	△56,649
純資産合計	8,803,138	8,873,494
負債純資産合計	15,970,177	16,491,041

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,284,500	4,525,458
売上原価	3,541,944	3,451,880
売上総利益	742,555	1,073,577
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	208,048	198,354
役員退職慰勞引当金繰入額	12,700	1,900
賞与引当金繰入額	37,079	19,676
退職給付費用	17,151	16,370
研究開発費	231,701	230,810
その他	434,341	466,210
販売費及び一般管理費合計	941,021	933,321
営業利益又は営業損失(△)	△198,465	140,256
営業外収益		
受取利息	963	565
受取配当金	22,915	24,952
雑収入	7,192	18,856
営業外収益合計	31,071	44,374
営業外費用		
支払利息	34,308	26,641
社債利息	5,332	5,653
アレンジメントフィー	—	34,000
雑損失	28,159	18,038
営業外費用合計	67,801	84,333
経常利益又は経常損失(△)	△235,195	100,297
特別利益		
固定資産売却益	—	137
投資有価証券売却益	—	40,814
特別利益合計	—	40,952
特別損失		
固定資産除却損	10,587	15,008
投資有価証券売却損	—	1,596
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	10,582
特別損失合計	10,587	27,187
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△245,782	114,062
法人税等	93,662	46,000
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△339,445	68,062

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△245,782	114,062
減価償却費	442,353	403,933
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	10,582
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,008	△3,575
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,759	△26,471
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,400	△14,600
固定資産除却損	10,587	15,008
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△39,218
受取利息及び受取配当金	△23,879	△25,518
雑収入	△7,192	△18,856
支払利息	39,641	32,294
雑損失	23,724	52,038
売上債権の増減額 (△は増加)	47,431	742,591
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△134,459	△13,241
仕入債務の増減額 (△は減少)	△66,159	△82,642
未払又は未収消費税等の増減額	28,660	△3,516
その他	24,409	△440
小計	131,968	1,142,432
利息及び配当金の受取額	24,226	25,580
利息の支払額	△40,501	△39,375
その他	△6,421	△22,843
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	34,911	△17,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,182	1,088,582
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	130,000	—
有形固定資産の取得による支出	△257,943	△224,692
有形固定資産の売却による収入	—	200
有形固定資産の除却による支出	△2,561	△2,469
投資有価証券の売却による収入	—	55,667
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△28,399	△54,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,903	△225,375

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	345,000	△155,000
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△118,000	△1,118,000
社債の発行による収入	242,979	—
社債の償還による支出	△61,000	△78,500
自己株式の取得による支出	△865	△672
配当金の支払額	△43,759	△43,914
財務活動によるキャッシュ・フロー	364,354	△396,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,089	△8,992
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	346,543	458,127
現金及び現金同等物の期首残高	170,957	113,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	517,501	571,777

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

種別	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
ファインケミカル事業	4,386,554	4,905,127
合計	4,386,554	4,905,127

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当社は受注による生産は僅かであり、主として見込み生産によっておりますので、受注ならびに受注残について、特に記載すべき事項はありません。

③ 販売実績

種別	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
アミノ酸関係	1,509,177	1,990,395
化成品関係	1,997,298	1,671,048
医薬品関係	778,024	864,014
合計	4,284,500	4,525,458

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 主要な輸出先及び輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。()内は総販売実績に対する輸出高の割合であります。

輸出先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売金額(千円)	割合(%)	販売金額(千円)	割合(%)
北アメリカ	279,435	18.9	518,909	34.8
アジア	669,080	45.2	446,593	30.0
ヨーロッパ	450,021	30.4	403,014	27.0
その他	81,945	5.5	122,172	8.2
計	1,480,483 (34.6%)	100.0	1,490,688 (32.9%)	100.0

3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
住友化学(株)	—	—	481,515	10.6
(株)山口薬品商会	430,622	10.1	—	—

※1 前第2四半期累計期間の住友化学(株)の販売高は342,685千円、割合は8.0%となっております。

当第2四半期累計期間の(株)山口薬品商会の販売高は324,973千円、割合は7.2%となっております。

※2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(ご参考)

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントですが、従来の「事業区分」による生産、受注及び販売状況はつぎのとおりであります。

① 生産実績

種別	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
医薬品関係・食品添加物関係	2,202,253	2,927,379
工業薬品その他	2,184,301	1,977,748
合計	4,386,554	4,905,127

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 医薬品関係・食品添加物関係については、両方に使用される製品があるため生産実績では一括して表示しております。

② 受注状況

当社は受注による生産は僅かであり、主として見込み生産によっておりますので、受注ならびに受注残について、特に記載すべき事項はありません。

③ 販売実績

種別	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
医薬品関係	1,540,862	2,161,968
食品添加物関係	829,236	796,141
工業薬品その他	1,914,400	1,567,348
合計	4,284,500	4,525,458

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。